

2020年度助成一覧表

調査研究助成

《個人研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
オーストラリアにおける技術移民の支援策と差別化策 :457カテゴリビザの運用とロイヤル鉱山開発事業にみる 日本社会への応用可能性の検討	小野塚 和人	神田外国大学 外国語学部英米語学科 専任講師	350,000
冷戦期東アジアにおける「境界」管理 —大村収容所を中心に—	李 英美	一橋大学大学院 社会学研究科 博士後期課程	500,000
インド・北東部における第二次世界大戦の記憶 —継承と観光開発をめぐる近年の動向	渡部 春奈	一橋大学/デリー大学 社会学 博士後期課程	500,000
移民とホスト集団の異質的選好に関する実証研究 —越境するミャンマー人の農村労働・結婚市場への参入—	翟 亜蕾	信州大学 経法学部 講師	360,000
フィリピンにおける米軍基地問題をめぐる政策決定過程と安全保障上の効果	大澤 傑	駿河台大学 法学部 助教	100,000
英領ビルマにおける「人種/民族」・「宗教」をめぐる キリスト教的動態の諸相の解明:1860-1915	藤村 瞳	上智大学院 グローバルスタディーズ研究科 特別研究員	580,000
近現代中国の地域研究と日本 ——1930-50年代における知日派の日本研究団体を中心に	高柳 峻秀	東京大学大学院 総合文化研究科 地域文化研究専攻 アジア科 博士後期課程	1,000,000
信念体系の形成と表出 サイバー空間とリアルな空間を行き来する現代インドネシアの若年層ムスリム	加藤 舞	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 博士2回生(他研究科の修士2回生に相当)	720,000
オスマン帝国におけるフランススコの活動 :クレシェヴォ修道院所蔵オスマン語文書群(18~19世紀)の分析から	佐治 奈通子	東京大学大学院 人文社会系研究科 博士課程	670,000
インフォーマルな活動に対する法制度・規範の変容 —マニラ首都圏における「盗電」を事例として—	宮川 慎司	東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程	550,000
第二次世界大戦後のラオスにおけるナショナリズムと連帯の可能性 :東南アジア、フランス植民地帝国を中心に	赤崎 眞耶	東京外国語大学大学院 博士後期課程(休学中) モンペリエ第三(ポール・ヴァレリー)大学 第58博士学院 博士後期課程	600,000
法多元主義と清帝国—清朝満洲における法の実態を中心として	史 志强	東京大学大学院 法学政治学研究科 博士課程	930,000
地域の文化継承と発展を担う高齢者たち —現代中国における西南少数民族の老人協会の現状と課題—	黄 潔	愛知大学 国際中国学研究センター 研究員	750,000
ホーランドミール編『名高き書簡 Nama-yi Nami』(1519年完成)の研究 —工匠の社会的地位と韻文リテラシーの問題を中心に—	神田 惟	東京大学 東洋文化研究所 特任研究員	600,000
サンスクリット文献の批判的校訂テキスト作成のための 南インド・サンスクリット写本収集	眞鍋 智裕	早稲田大学 高等研究所 講師	700,000
1960年代における中華民国政府の対日経済外交 —国府外交の台湾化に関する再検証—	森 巧	一橋大学大学院 社会学研究科 総合社会科学専攻 博士課程	800,000
ニュージーランドの先住民マオリの親族に関する知識の研究	神山 歩未	名古屋大学大学院 人文学研究科 博士研究員	650,000
資本主義社会における宗教組織の経済倫理 —現代タイ・タンマガーイ寺ではたらく労働者の視点から	山田 実季	京都大学大学院 人間・環境学研究科 修士課程2年	600,000
ウズベキスタンにおける伝統的ムスリム社会の 在り方の変容とその身分法制度への影響	江原 菜美子	名古屋大学大学院 法学研究科 特任講師 (日本法教育センター・ウズベキスタン勤務)	630,000
「モンゴル人にとってラクダとは何か？」 ゴビ砂漠におけるラクダの多面的価値創造と牧畜文化の再構築:1940-2020	WU WUYUNGA	総合研究大学院大学 文化科学研究科 博士後期課程	800,000

《共同研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
中央アジア出土東ローマ帝国貨幣の基礎的調査	村田 光司	名古屋大学 高等研究院 特任助教	800,000

助成金合計
21件 13,190,000円
(2020年3月助成実施)